

平成27年(2015年)12月の結果 (二人以上の世帯)

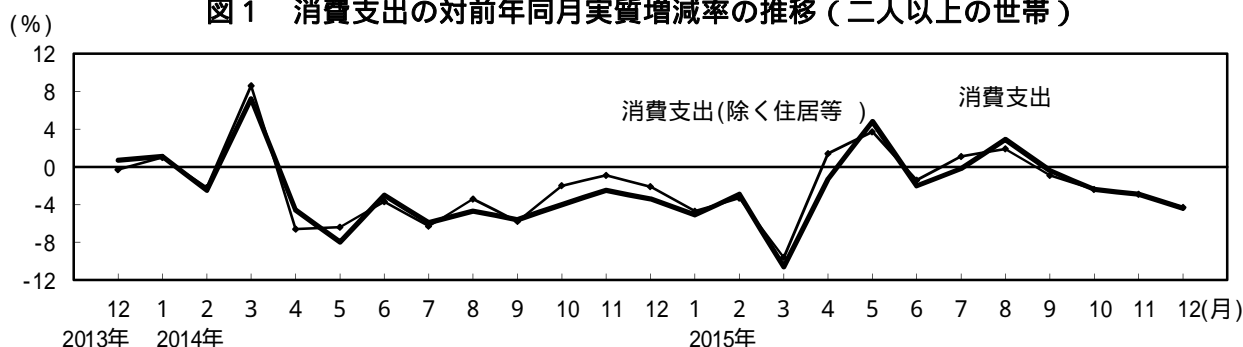
二人以上の世帯

・消費支出は、	1世帯当たり 318,254 円		
前年同月比	実質 4.4%の減少	前月比(季節調整値)	実質 1.0%の増加
	名目 4.2%の減少		
・消費支出(除く住居等)は、	1世帯当たり 277,126 円		
前年同月比	実質 4.3%の減少	前月比(季節調整値)	実質 1.0%の増加
	名目 4.1%の減少		
・勤労者世帯の実収入は、	1世帯当たり 900,229 円		
前年同月比	実質 2.9%の減少		
	名目 2.7%の減少		

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

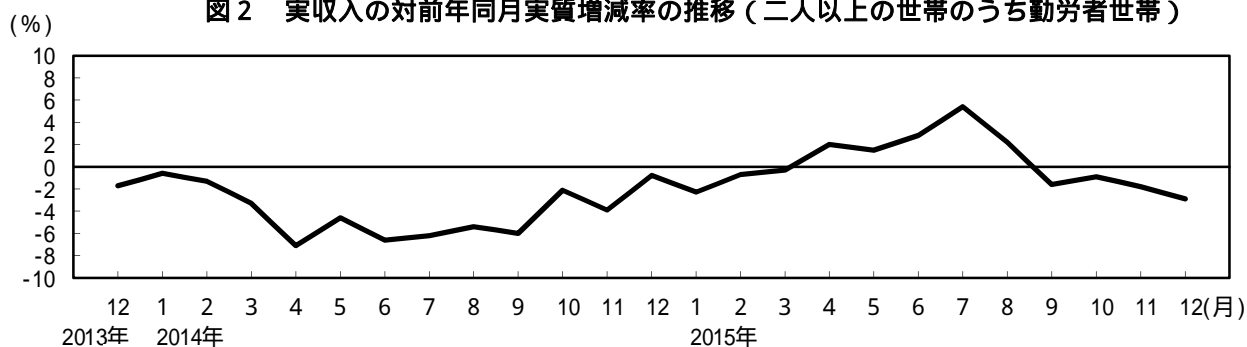
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2014年	2015年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
消費支出	-3.4	-5.1	-2.9	-10.6	-1.3	4.8	-2.0	-0.2	2.9	-0.4	-2.4	-2.9	-4.4
消費支出(除く住居等)	-2.1	-4.7	-3.3	-9.6	1.4	3.7	-1.4	1.1	1.9	-0.9	-2.4	-2.9	-4.3

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2014年	2015年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実収入	-0.8	-2.3	-0.7	-0.3	2.0	1.5	2.8	5.4	2.2	-1.6	-0.9	-1.8	-2.9
可処分所得	-0.3	-2.5	-0.5	-1.1	2.3	1.5	1.7	5.0	1.8	-1.2	-0.3	-2.5	-3.1
消費支出	-3.0	-4.3	-3.6	-11.0	0.5	7.5	-1.4	0.7	3.4	-1.7	-2.3	-4.1	-5.0
平均消費性向*	-1.3	-1.6	-2.3	-10.7	-1.5	5.5	-1.6	-2.8	1.3	-0.4	-1.6	-1.4	-0.9

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2015年12月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率 へ の 寄 与 度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	318,254	-4.2	-4.4	-		4 か月連続の実質減少
食 料	88,327	2.5	0.1	0.02	<増 加> 飲料,油脂・調味料など	2 か月ぶりの実質増加
住 居	22,314	-6.7	-7.1	-0.51	<減 少> 設備修繕・維持,家賃地代	5 か月ぶりの実質減少
光 熱 ・ 水 道	21,669	-16.6	-10.7	-0.84	<減 少> 他の光熱,電気代など	3 か月連続の実質減少
家具・家事用品	13,721	4.2	1.9	0.07	<増 加> 室内装備・装飾品,寝具類など	2 か月ぶりの実質増加
被 服 及 び 履 物	12,099	-15.3	-16.8	-0.72	<減 少> 洋服,シャツ・セーター類など	5 か月連続の実質減少
保 健 医 療	14,834	2.0	1.2	0.05	<増 加> 保健医療サービス	5 か月ぶりの実質増加
交 通 ・ 通 信	36,474	-10.1	-7.5	-0.92	<減 少> 自動車等関係費,通信など	4 か月連続の実質減少
教 育	8,726	-0.2	-1.7	-0.04	<減 少> 補習教育	2 か月ぶりの実質減少
教 養 娛 楽	31,137	-1.8	-3.9	-0.37	<減 少> 教養娯楽サービス,書籍・他の印刷物など	4 か月連続の実質減少
その他の消費支出	68,953	-5.9	(-6.1)	(-1.34)	<減 少> こづかい,諸雑費など	7 か月連続の実質減少
消 費 支 出 (除 く 住 居 等)	277,126	-4.1	-4.3	-		4 か月連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

自動車等関係費	[-0.63]	自動車等部品,自動車購入
諸雑費	[-0.59]	葬儀関係費,装身具
設備修繕・維持	[-0.40]	外壁・塀等工事費,給排水関係工事費
通信	[-0.35]	固定電話通信料,携帯電話通信料
他の光熱	[-0.26]	灯油
洋服	[-0.26]	婦人用コート,子供服
電気代	[-0.24]		
教養娯楽サービス	[-0.23]	外国パック旅行費,語学月謝
上下水道料	[-0.16]		

< 増加項目 >

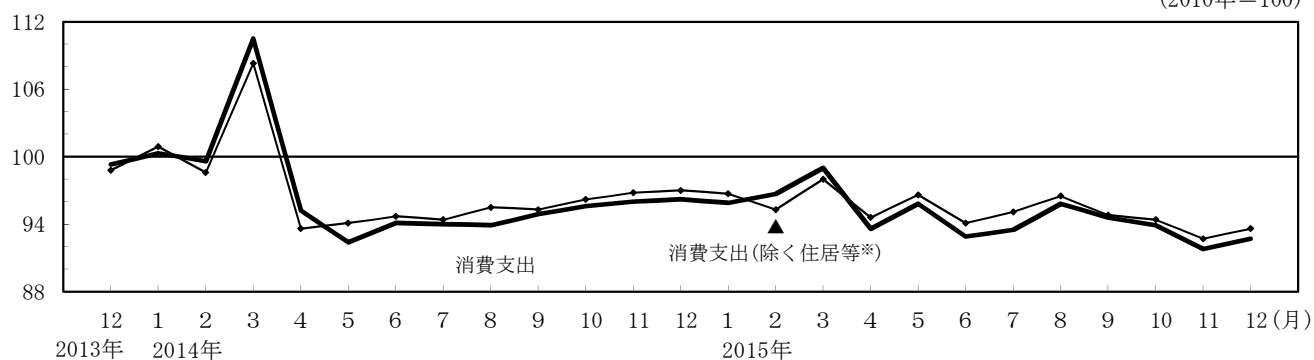
保健医療サービス	[0.26]	他の入院料*, 歯科診療代
室内装備・装飾品	[0.17]	室内装飾品

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）

（2010年＝100）



	2014年	2015年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
消費支出	96.2	95.9	96.7	99.0	93.6	95.8	92.9	93.5	95.8	94.6	93.9	91.8	92.7
対前月変化率(%)	0.2	-0.3	0.8	2.4	-5.5	2.4	-3.0	0.6	2.5	-1.3	-0.7	-2.2	1.0
消費支出(除く住居等※)	97.0	96.7	95.3	98.0	94.6	96.6	94.1	95.1	96.5	94.8	94.4	92.7	93.6
対前月変化率(%)	0.2	-0.3	-1.4	2.8	-3.5	2.1	-2.6	1.1	1.5	-1.8	-0.4	-1.8	1.0

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2015年12月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	900,229	-2.7	-2.9	—	4か月連続の実質減少
世 帯 主 収 入	723,168	-2.4	-2.6	-2.05	5か月連続の実質減少
定 期 収 入	350,649	-1.4	-1.6	-0.60	5か月連続の実質減少
臨時収入・賞与	372,519	-3.3	-3.5	-1.45	
配 偶 者 の 収 入	102,336	-1.3	-1.5	-0.17	9か月ぶりの実質減少
他の世帯員収入	10,121	-35.4	-35.5	-0.60	6か月連続の実質減少
非 消 費 支 出	148,688	-1.7	—	—	2か月ぶりの減少
可 処 分 所 得	751,540	-2.9	-3.1	—	4か月連続の実質減少
消 費 支 出	340,474	-4.8	-5.0	—	4か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	(前年同月) (ポイント差)				季節調整値でみると、72.9%で、前月に比べ、0.3ポイントの低下となった。
	45.3	46.2	-0.9		

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。